

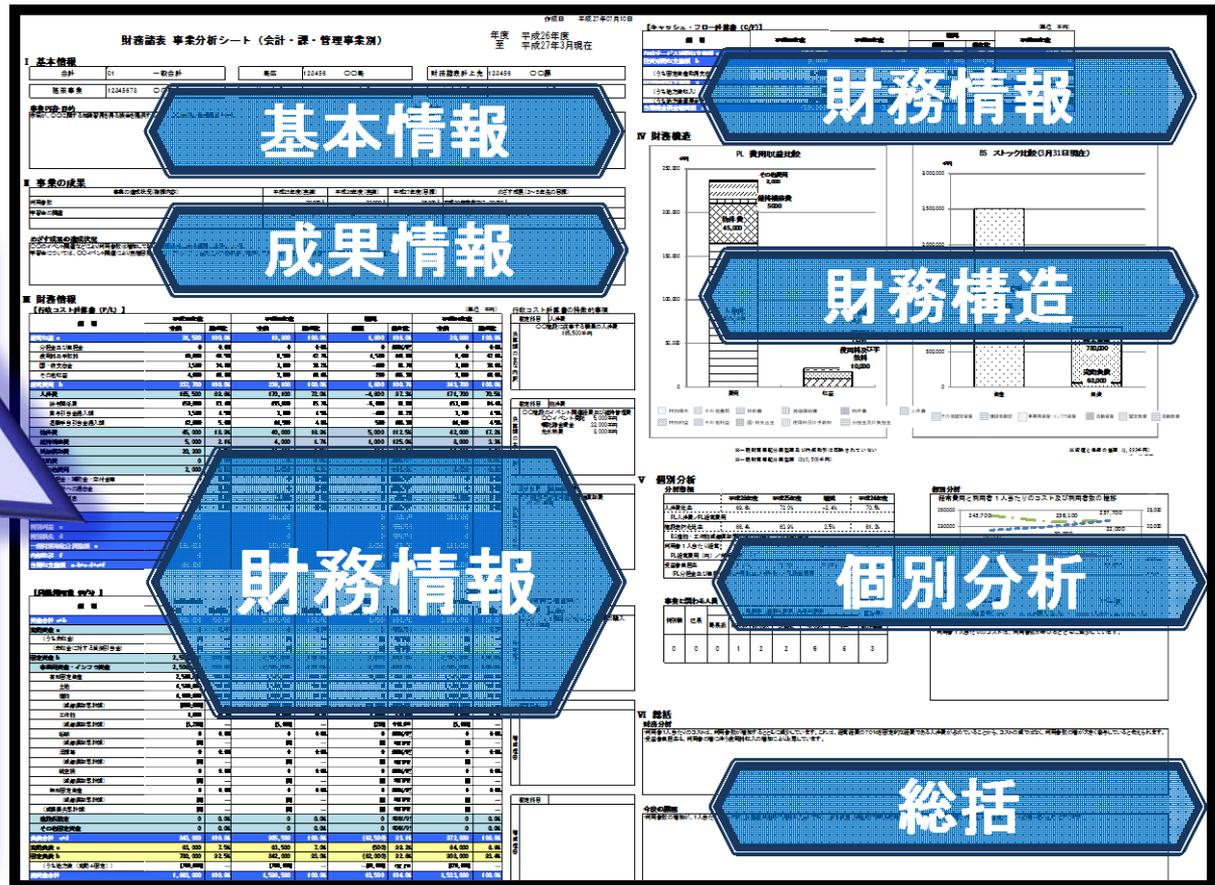
公会計制度改革の効果

統合のための手法（事業分析シートの作成）

○事業単位ごとにシステムから出力が可能な事業分析シートは、活用に資する多くの財務情報等が入手可能となることに加えて、別途入力する成果情報等も含めて総覧性に優れた資料となっている。

分析シートの特徴

過去3カ年のコスト、資産負債の推移などの財務情報や費用収益の財務構造、分析指標の一部が記載された状態で出力される。



事業分析シート(イメージ)

公会計制度改革の効果

資産マネジメントへの情報提供

○財務諸表を作成する過程で、大阪市が保有する全ての資産について、取得時の価格、減価償却累計額といった情報が算出され蓄積される。また、施設単位の財務諸表等*からは施設を使用・維持することによるコストが導出される。

資産に関する情報

取得原価・取得年月・耐用年数・減価償却累計額・維持補修費 etc…

⇒ 資産の老朽化度合い（残存耐用年数）も算出可能

資産マネジメントへの情報提供

資産管理の効率化

- 管理コストの分析などによる効率化
- 老朽化度合いと維持補修費の対比

資産の更新計画

- コスト情報を活用した資産の更新等の検討
- 老朽化度合いを把握した更新計画の検討

*…任意事業や管理事業などの事業区分を施設単位で新たに設定し、作成することが必要

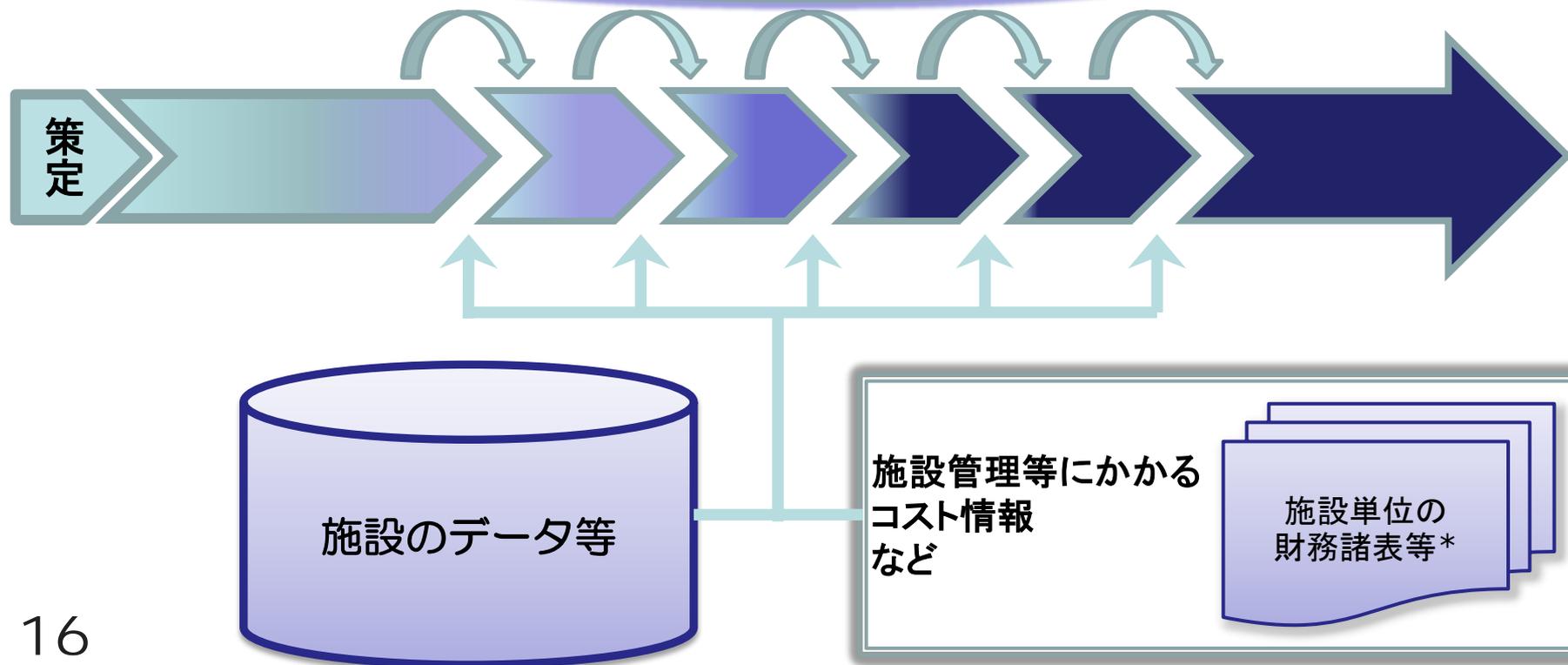
公会計制度改革の効果

資産マネジメントへの情報提供（中長期的な公共施設等の管理計画）

○総務省から作成を要請されている公共施設等総合管理計画の充実・精緻化、計画見直しの際、参考として施設単位の財務諸表等*の情報を提供する。

計 画 期 間

充実・精緻化、計画見直し



16

* ……任意事業や管理事業などの事業区分を施設単位で新たに設定し、作成することが必要